

---

## 1. 愛称 「まかび未来スケッチ」

---

## 2. 目的

真嘉比小学校区は、沖縄戦で激戦地となり、戦後大きく変貌を遂げた地域です。戦前においては、のどかな農村地帯で、現在の真嘉比遊水地がある川沿いでは、田芋作りが盛んでした。豊作を祈る神事として行われていた綱引きは、地域の伝統行事「真嘉比豊年祭」として現在にも受け継がれており、綱引き当日の朝は住民が集まり綱作りを行うなど、人々が集うイベントとなっています。沖縄戦では、シュガーローフの戦いで激戦地となり、集落は壊滅的な被害を受けました。戦後は、住宅地として発展し、区画整理事業も進んだことから急速な都市化が進み、以前の農村地帯の面影はほとんどなくなりました。現在は、新たな集合住宅が次々と建設され、流入人口も増加傾向にあり、土地価格も高騰している状況から、住みやすい地域であるといえるでしょう。

このような地域の歴史背景も踏まえたうえで、真嘉比小学校区は、これまで地域をつなげてきた先人たちに感謝し、これからの未来を担う子供たちの笑顔であふれ、様々な意見や考え方を尊重する地域でありたいと考えています。

そのような地域づくりを行うにあたっては、子どもから高齢者まですべての人、また地域のさまざまな団体が、対等に地域の理想や課題について話し合える場が必要であると考えています。

地域がつながりを深める場を創り上げることを目的に本準備会を設立します。

---

## 3. ビジョン・目標

令和6年11月に行った地域ワークショップの意見を集約し、真嘉比小学校区は、「地域のつながりを大切に、すべての人が助け合い、暮らしやすいまち」を目指すこととします。

具体的には、以下の4つを理想に掲げて、活動を進めていきたいと考えています。

- ・皆があいさつを交わせる元気なまち
  - ・人と人がつながるまち
  - ・防犯・防災・美化意識を高め、治安がよく、災害にも負けない、キレイなまち
  - ・真嘉比豊年祭や旗頭などの伝統文化を大切に、次の世代に伝えるまち
- 

## 4. 協力体制・パートナーシップ

本準備会は、地域住民、自治会、地域の団体・事業者、学校、PTA、民生委員児童委員、NPOなどがゆるやかに連携（協力・話し合い）しながら進めていきます。地域の将来や課題を共有し、互いを尊重し楽しみながら、持続可能な地域づくりに取り組みます。

